

持続可能な物流を目指して
～荷主、事業者一体となり再構築～

物流管理研究部会

2025

2025年度 物流管理研究部会

趣旨

近年、物流業界を取り巻く環境は急速に変化しており、ドライバー不足や地政学的リスクによるサプライチェーンの混乱など、「物流崩壊」が現実味を帯びつつあります。

こうした社会インフラとしての物流を持続的に支えていくためには、業界における従来の商慣行の見直しや物流DXの推進、さらには荷主企業の意識改革など、物流事業者のみならず荷主企業も一体となった取り組みが不可欠です。

本研究部会では、物流品質の向上とお客様満足の実現を基本に据えつつ、サプライチェーン全体の効率化と価値創造に資することを目的に開催いたします。具体的な先進事例に学ぶとともに、荷主企業と物流事業者が直接交流し、相互理解を深める場としての機能も果たしてまいります。

第1例会

講演会

と き 2025年 6月 25日(水) 15:00~17:30

と ころ ① 会 場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テ ー マ 「改正物流法について」

講 師 国土交通省中部運輸局 交通政策部環境・物流課課長 鈴木博行氏
国土交通省中部運輸局 自動車交通部貨物課課長 神戸英至氏

視 点 2024年5月には物流関連2法(「流通業務総合効率化法」、「貨物自動車運送事業法」)の改正案が公布され、今年4月1日から段階的に施行されます。今回は中部運輸局様より、法改正の背景、概要、書面交付の義務化、実運送体制管理簿・下請情報通知、健全化措置・運送利用管理規程・運送利用管理者、荷待ち時間等記録義務付け対象拡大、物流効率化のための荷主・物流事業者が取り組むべき措置やその判断基準などを解説いただきます。

講師を交えた意見交換会 (16:30~17:30) (来場者のみ)

第2例会

視察会

と き 2025年 7月 31日(木) 14:30~17:00

と ころ リンナイ 春日井物流センター

テ ー マ 「人手不足解消を目的とした「自動化改革」」

講 師 リンナイ(株) 生産本部物流統括室室長 伊藤理希氏

視 点 リンナイは2022年10月、春日井市に物流センターを開設しました。当物流センターは、小牧市の総合物流センターと岩倉市のリンナイパーツセンターの機能を集約し、輸送効率の向上と業務効率化を目指しています。また、立地についても主力生産拠点からの中間点に位置し、次世代の物流体制構築を目指し、人手不足解消のための自動化改革や重筋作業の軽減、IT化を推進しています。同社の人手不足に対応しつつ、商品の販売拡大に伴う物流量増加にも対処し、顧客満足度の高い配送サービスの実現を目指す同社の取り組みを伺います。

第3例会

講演会

と き 2025年 9月 26日(金) 15:00~17:30

と ころ ① 会 場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テ ー マ 「持続可能な企業として存在し続けるために」

～現場課題を踏まえたDXの取組～

講 師 浜松倉庫(株) 代表取締役社長 中山彰人氏

視 点 浜松倉庫株式会社は、2015年から若手管理職を中心に生産性向上のための新しい業務のあり方を検討し、DXに取り組んできました。倉庫管理システムを核に、AIやロボットを積極的に導入し業務の生産性が3割向上しました。その結果、経済産業省の「DXセレクト2024」でグランプリを受賞し、中小企業のDX推進モデルとして評価されています。持続的な物流を目指し生産性向上を進める同社の取り組みを伺います。

講師を交えた意見交換会 (16:30~17:30) (来場者のみ)

2025年度 幹事

当研究部会の企画立案・当日運営などの中心的な役割をお務めいただいております。

西濃運輸(株)	執行役員名古屋エリア統括マネージャー	吉田明宏氏
(株)デンソー	生産管理部物流改革室長	小旗豊隆氏
トヨタ自動車(株)	物流管理部部長	吉田晃朗氏
日本ガイシ(株)	資材部ロジ戦略グループマネージャー	鈴木秀樹氏
ブラザーインターナショナル(株)	グローバルロジスティクス部部長	増田哲次氏
名港海運(株)	常務執行役員	山口淳氏

(組織名五十音順)

幹事会

第1回

とき
2025年 9月26日(金)

第2回

とき
2026年 3月13日(金)

第4例会

※別途参加費を頂戴いたします。

視察会

とき 2025年 11月20日(木)～11月21日(金) 東京エリア

ところ 日本貨物鉄道 東京レールゲート
東京港

※その他視察先については社会情勢変化や、ご登録者の皆様へのアンケートを反映させ確定いたします。

テーマ 「日本の玄関口 東京のサプライチェーン動向」

第5例会

とき 2026年 1月22日(木) (予定)

第5例会(1/22)につきましては社会情勢変化や、ご登録者の皆様へのアンケートを反映させ確定いたします。都合により日程変更の可能性がございますことご了承願います。各例会の最新状況は中部生産性本部HPをご確認ください。

<https://www.cpc.or.jp/cpc/pages/125/>



第6例会

視察会

とき 2026年 3月11日(水) (予定)

ところ (株)豊田自動織機 (見学先工場については調整中)

テーマ 「スマートな物流を目指して」(仮題)

～自動化&管理コスト低減による生産性向上～

※なお、講師等の都合により、若干の日程変更となる可能性があります。また、各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にご案内いたします。

参考 2024年度登録組織一覧 (2025/4/11 時点)

アール・ビー・コントロールズ(株)、(株)アイシン、アイチ物流(株)、アドバンスト・ロジスティクス・ソリューションズ(株)、伊勢湾海運(株)、イビデン産業(株)、岡谷鋼機(株)、岡谷物流(株)、カリツー(株)、キムラユニティー(株)、三岐通運(株)、三協(株)、鈴与(株)、西濃運輸(株)、大同特殊鋼(株)、大同ロジテック(株)、タキヒヨー(株)、中部運輸局、中部経済産業局、TBロジスティクス(株)、(株)デンソー、(株)デンソーロジテム、東陽倉庫(株)、トーエイ(株)、(株)トヨコン、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機、トヨタ車体(株)、豊田通商(株)、トヨタ紡織(株)、トヨタモビリティパーツ(株)岐阜支社、トヨタ輸送(株)、ナゴヤ SHIPPING(株)、ニチハ(株)、日東工業(株)、日本ガイシ(株)、日本特殊陶業(株)、日本貨物鉄道(株)、日本トランスシティ(株)、日本トランスシティ労組、日本メナード化粧品(株)、濃飛倉庫運輸(株)、ビューテック運輸(株)、(株)フジトランスコーポレーション、フタバ産業(株)、ブラザーインターナショナル(株)、ブラザー販売(株)、ブラザーロジテック(株)、ホンダロジコム(株)、マルサンアイ(株)、丸太運輸(株)、(株)水谷運輸倉庫、(株) Mizkan、名港海運(株)、矢作建設工業(株)、(株)ヨコタエンタープライズ、リンナイ(株)、ロジスティード中部(株)

申し込み方法

中部生産性本部ホームページよりお申し込みください。

<https://www.cpc.or.jp/cpc/pages/125/>

中部生産性本部

検索

申し込みページ



※ 昨年度登録されている場合、別途ご案内いたします。

開催要領

と き

2025年6月25日(水)～2026年3月11日(水) (年間6回)

参加方法

会場 または オンラインの選択制

① 会場 (中部生産性本部 セミナールーム) (豊島ビル11階)

② オンライン (Zoom)

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15

年間登録費

一般財団法人中部生産性本部 会員企業 …… 93,500円

一般企業 …… 137,500円

1組織2名登録
資料代・消費税含む。

① 年間登録費につきましては、請求書に記載の振込み期日までにお振込み願います。

なお、振込手数料については、お客様にてご負担願います。

② キャンセルは6月18日(水)までをお願いいたします。

6月19日(木)以降は登録費の払戻しをいたしかねますのでご了承ください。

対 象

物流部門責任者及び担当者

申込締切日

2025年6月18日(水)

運営方法

- ① 各例会はご登録組織におけるメンバー制にて運営いたします。
- ② 各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にEメールでご案内いたします。
- ③ 各例会への出席は2名まで可能です。(代理出席可)
- ④ 録画の配信は許可いただいた講演のみ、後日登録者の方にご案内いたします。(期間限定)
- ⑤ 第4例会の参加には別途参加費を頂戴いたします。

注意事項

下記事項を確認、同意の上、お申込みをお願いします。

- ① 講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更・参加の制限をさせていただきます場合がございます。ご了承ください。
- ② 講演の録画、録音、配布資料記載事項の無断転載、オンライン参加の場合は画面撮影、画面キャプチャー、SNSなどへの掲載を固くお断りいたします。その様な行為が発覚いたしました場合、事務局より削除を要請し、損害賠償を請求させていただきます。
- ③ (オンラインの場合) 当方に起因しないシステムトラブルにより画像・音声に乱れが生じた場合については、再送信や返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④ 登録者並びに代理参加以外のご参加はご遠慮願います。(オンラインの場合、視聴URL等は参加されるご本人のみ有効です。第三者への転送はご遠慮ください。)
- ⑤ 本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。

お問い合わせ先

一般財団法人 中部生産性本部 《<https://www.cpc.or.jp/cpc/>》

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階

TEL (052) 221-1261 FAX (052) 221-1265

●担当 / 羽広・北村